

## 第65回 全国学校新聞指導者研修会要項

- <主 催> 全国高等学校新聞教育研究会  
一般社団法人 日本新聞協会  
(公財)全国高等学校文化連盟正会員団体高等学校文化連盟全国新聞専門部
- <後 援> 文部科学省(予定)  
広島県教育委員会 (予定)  
広島県N I E 推進協議会 (予定)

10月10日(土)から2日間、広島市の広島女学院大学及び広島県自治会館会議室で第65回全国学校新聞指導者研修会を開催いたします。今年のメインテーマは、昨年に引きつづき、「学校新聞で動きを作ろう～民主社会を育むスクールジャーナリズム～」としました。

この研修会は、全国高等学校新聞教育研究会、一般社団法人日本新聞協会、全国高等学校文化連盟正会員団体高等学校文化連盟全国新聞専門部の主催で、高等学校における新聞教育の普及と学校新聞の活性化を目的に、毎年秋に開催しております。また、この研修会は、次年度、全国高等学校総合文化祭開催地でのプレ大会としての性格も、あわせ持っております。

今回の研修会では、情報が氾濫する現代社会の中で、身の回りのできごとに関心な高校生が増えている現実を踏まえて、報道を通じて生徒たちの生活の場である学校に注目させ、校内に風を巻き起こし学校の動きをつくる、学校新聞の「スクールジャーナリズム性」に焦点を当てました。学校新聞のこの働きは、民主主義の原点とも言えるものであり、民主社会を育む力とも言えます。N I Eの活動も視野に入れながら、学校新聞及び新聞作りについて、幅広い観点から論議を深めたいと考えております。

テーマを踏まえて、記念講演の講師には、広島とともに歩んできた地元企業の株式会社広島マツダ代表取締役社長、松田哲也氏をお迎えします。同社では新築される本社ビルを「ピースタワー」と命名するなど、広島の実業として、平和教育にも熱心に取り組んでいます。

実践報告の1本目は、静岡県立<sup>つよし</sup>葦山高校新聞部顧問の上杉剛嗣先生にお願いしました。先生は前任校の「沼津東高新聞」を全国的にも注目を集める学校新聞に育てるなど、多大な実績を上げてこられました。2本目は積極的な学校新聞活動を展開する、地元広島県、崇徳高校の花岡健吾先生にお願いしました。また参加者から提出された実際の紙面をもとに、紙面づくりのポイントについて学ぶ高校新聞クリニックは、鳥取県立鳥取中央育英高校などで学校新聞を指導され、全国高等学校文化連盟新聞専門部の立ち上げにも尽力された、戸田通昭先生にアドバイザーをお願いしました。

2日目の技術講座は、1日目の記念講演につづいて、「被爆70周年のヒロシマ」をテーマに被爆体験を継承する「ピースボランティア」に光を当てます。第1部は「ヒロシマを語り継ぐ～これからの伝承のあり方～」をテーマに、地元紙(中国新聞)の記者から、「取材で感じた被爆体験の継承と今後」についてお話を伺います。つづく第2部では、ピースボランティアの方に実際に平和祈念公園を案内していただき、被爆の実態に迫るお話を伺います。

研究分科会(1)「初心者のための新聞製作」では、富山県高等学校新聞指導研究会の得地聡先生に、学校新聞の製作の基本を指導していただきます。研究分科会(2)では、前日に引き続き、メインテーマをめぐって意見交換します。研究分科会(3)では、神奈川県立横須賀高校の中根淳一先生を世話人に、実践を踏まえて、N I Eについて意見交換します。

尚、今回の研修会参加に際し、学校長あての文書が必要な場合は、別記の全国高等学校新聞教育研究会研修会担当(神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫)までご連絡ください。

## 《参加要領》

1. 参加者：学校新聞を指導する高等学校の教職員及び新聞教育に関心を持つ教職員・関係者
2. 定員：70人程度（申し込み順に受け付けます）
3. 日程：10月10日（土）～11日（日）の2日間 ※日程の詳細は別紙参照
4. 会場：広島女学院大学ソフィア2号館（1日目）  
〒732-0063 広島県広島市東区牛田東4-13-1 電話：082-221-2633  
広島県自治会館会議室（2日目）  
〒730-8514 広島市中区基町10-3（広島県庁北館隣）

5. 懇親会場：広島料理専門 釜飯「酔心」本店  
〒732-0032 広島県広島市中区立町6-7  
（※JR広島駅より路面電車10分＜徒歩20分＞）  
電話：082-247-4411

### 6. 申込方法：

申込用紙に必要事項をご記入のうえ、神奈川県立厚木東高校毛利淳夫宛てにお申し込みください。あわせて、下記の口座に参加費、懇親会費等も送金（振込料本人負担）してください。

参加費：4,000円 懇親会費：5,000円

【送金先】みずほ銀行東京営業部（001） 口座番号（普通）1003540

加入者名 全国高等学校新聞教育研究会

### 7. 申込締切：9月25日(金)必着

### 8. 宿泊：

宿泊につきましては、アークホテル広島駅南（宿泊申込書参照）を用意しております。ご希望の方は（株）近畿日本ツーリスト中国四国広島支店（問合せTEL：082-221-6112、FAX：082-221-7039、担当者：有吉元）までご相談ください。

なお、申し込みは別紙宿泊申込書を使い、9月10日(木)までにFAXで申し込んだ上、電話で確認してください。

### 9. クリニック紙の募集：

高校新聞クリニックを希望される方は、参加申込用紙にその旨をご記入ください。先着順に4校まで受け付けます。申し込み結果、クリニック紙の送付先など、詳細はお申し込み者ご本人に、直接ご連絡いたします。

### 10. 交換紙コーナーの設置：

各高校の新聞を交換する場所を設けます。70部をお持ちください。単一号で部数が揃わない場合は、複数号で揃えていただいても結構です。

### 11. 問い合わせ先：

全国高等学校新聞教育研究会研修会担当（神奈川県立厚木東高校・毛利淳夫）

神奈川県厚木市王子1-1-1（〒243-0817）

電話046-221-6469 FAX046-222-8204

メール；amohri@pen-kanagawa.ed.jp